



佐

野市内に「星宮神社」は、小さなお宮を含めていくつもあります。

そのうちの1つが大蔵町の「佐野天明宿星宮神社」です。平安末期に創建され、旧社は、七ツ塚と呼ばれ、北斗七星の形に塚を配置されていました。また、佐野市指定文化財の鳥居は天明鋳物でできています。

高橋宮司は赤坂町鹿島神社をはじめとして市内8社を兼務しています。

前任の新村宮司からこの「星宮神社」を引き継ぎ、令和8年4月1日、高橋由香宮司が就任しました。

高校生の頃、唐澤山神社で巫女をしたこともあったという高橋宮司は、以前から市内あちこちの神社に呼ばれ、神事の際に笙（雅楽の笛）の演奏をしていました。

そんな時、唐澤山神社の先代佐野正行宮司にお声がけいただき、神職となることを勧められました。資格をとり、唐澤山神社の権禰宜としてお勤めすることになり、現在もお勤めされています。また、明治神宮で研さんを積み、神楽舞である浦安

星にみちびかれ

の舞を学び、市内富士地区と栃本地区の子どもたちの指導にあたり約20年になります。

待ちに待った新宮司を迎えた星宮神社では、地元のボランティアさんなどの協力もあり、現在少しずつ整備が進んでいます。宮司自ら手作りのお守りや、茅の輪くぐり、厄よけ石など新しいことを取り入れ、しばらく途絶えていた節分の豆まきや、おみこしも復活する予定だそうです。

「これまで導いてくださった故佐野正行宮司のご恩に報い、歴史と伝統を守りながら、地元の協力してくださる方々に感謝して、皆さまから愛される神社にしていきたい」と話してくれました。

お話を聞いている間、引きも切らさず参拝者やボランティアさんが社務所を訪れていました。天明宿の氏神として静かに鎮座している星宮神社に、新しい風が吹き始めています。

（市民記者 永倉文子）

キラリ話題の人

高橋 由香 さん

・佐野天明宿星宮神社宮司



市長室からこんにちは！

今年の夏は、佐野日本大学高等学校硬式野球部の皆さんが、私たちに言葉では言い尽くせないほどの大きな感動と勇気を与えてくれました。

栃木大会決勝戦、國學院栃木高校との死闘。延長10回タイブレークという極限の状況で見た劇的な逆転サヨナラホームランは、16年ぶり7度目となる夏の甲子園出場、そして春夏連続出場をたぐり寄せる歴史的な瞬間となりました。最後まで決して諦めない選手たちの気迫あふれるプレーは、多くの市民の胸を熱く焦がしました。

夢の聖地・甲子園でも佐野日大の快進撃は続き、強豪校を相手に目覚ましい全員野球を展開し、29年ぶりにベスト16進出を果たしました。3回戦では健大高崎高校に惜しくも敗れましたものの、最後の1アウトまで全力で挑み続けた堂々たる戦いぶり、まさに佐野市の誇りです。

また、アルプススタンドから響き渡る大声援と、選手と心をつなげてエールを送り

続けた素晴らしい応援団の姿も、観る者の心を深く打ちました。アルプスとグラウンドが一体となったあの熱気こそが、チームの怒濤の快進撃を支える大きな力となったに違いありません。夢と感動を届けてくれた選手や監督、関係者の皆さま、素晴らしい応援を見せてくれた応援団の皆さま、そして温かい声援を送られた市民の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、この夏の熱気をそのままに、9月12日（土）・13日（日）の2日間、佐野市役所周辺におきまして「第34回さの秀郷まつり」を開催いたします。伝統のみこし・おはやし巡行をはじめ、迫力あふれる「佐野秀郷ねぶた巡行」、「市民総おどり」、にぎやかなグルメリランドなど、多彩な催しをご用意しております。

球児たちが魅せてくれた情熱と絆を胸に、今度は市民の皆さまが丸となり、佐野市の秋を笑顔と活力でいっぱい彩ってまいります。

佐野市長
金子 裕





実り願う夏 下仲町の夏祭り

栃本上町会の下仲町は、栃本小学校周辺の約80世帯の町内です。明治6年(1873年)に開校した栃本小学校は、当時、廃寺だった明蔵院という祈願寺を校舎にしていました。その廃寺にあったご本尊様が現在は下仲町公民館の玄関先に三日月様として安置されており、毎年夏まつりには町内の人のご利益を願い、さい銭を奉納する習慣があります。

また、農家の皆さんが五穀豊穡を願い、この夏祭りに合わせて庚申様を年一回、農家へ順番に宿しておまつりしていましたが、何年か前から夏祭りに合わせて一緒におまつりするようになりました。

今年も7月第3土曜日の18日に夏祭りが開催されました。三日月様と庚申様をおまつりして、町内役員さんが実り多い一年になるよう、さい銭をお納めしていました。

下仲町の皆さんが大切に守り続けているこの行事が、これからも末永く受け継がれることを願っています。

(市民記者 中里聖子)



16年ぶり7度目の優勝 佐野日大高校が夏の甲子園出場・2回戦突破

7月26日(日)、第108回全国高等学校野球選手権栃木大会の決勝で、佐野日大高校は延長タイブレークの末、劇的なサヨナラホームランで16年ぶり7度目の優勝を飾りました。

8月5日(水)に阪神甲子園球場で開催した夏の甲子園では初戦、第2戦と勝利を重ね、29年ぶりに16強入りを見事果たしました。

3戦目を迎えた16日(日)、健大高崎高校(群馬県代表)と対戦。惜しくも8強入りには届きませんでしたが、選手たちの奮闘する姿は、多くの人の心に深く刻まれました。

伝統×夏休み！ とびこもう天明鋳物の世界へ

8月11日(火祝)、「伝統×夏休み！～とびこもう天明鋳物の世界へ」がイオンモール佐野新都市1階セントラルコートで開催されました。

天明鋳物を見たり触れたりする機会を提供し、その良さを体感してもらうために開催され、当日は夏休みを迎えたお子さんやそのご家族などが訪れました。

子どもだけでなく、大人も真剣なまなざしで制作に取り組む姿や、昔遊びを楽しむ様子が見られ、老若男女問わず多くの方で盛り上がりを見せていました。